

Elazzio

SEAT COVER



SUZUKI
ALTO
MAZDA
CAROL

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

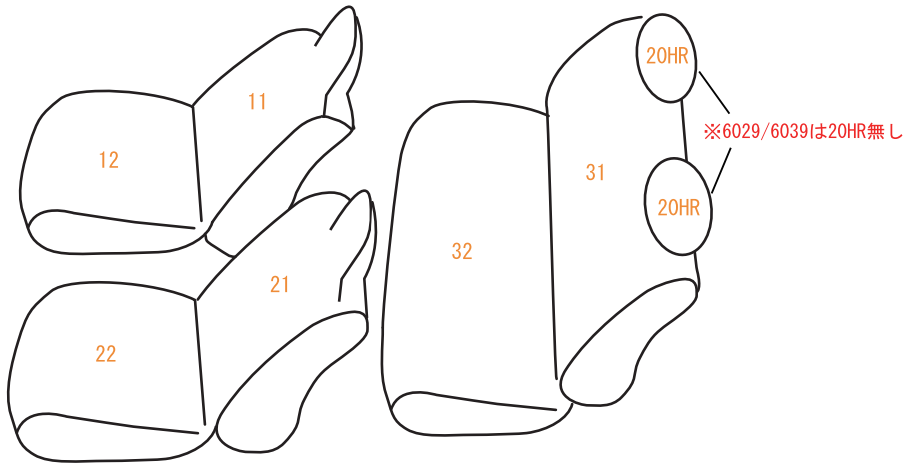
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P～7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 8P～9P
2 列目座面の装着方法	…> 10P～11P
2 列目背もたれの装着方法	…> 12P～15P
ヘッドレストの装着方法	…> 15P～16P
ひもの結び方	…> 17P
完成図	…> 18P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 19P～20P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



① クラツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつくなる場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

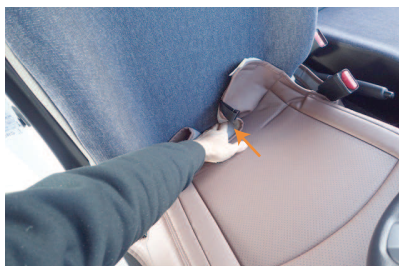
1 列目座面の装着方法



- 1** カバーをシート全体にかぶせます。



- 4** 外側面の生地を、シートリフターの内側に通します。
※シートリフター未装備車の取り付け方は助手席と同様の為、4番～9番の代わりに、14番～16番をご覧ください。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。



- 5** 通した生地裏に付いているマジックテープをシートのフチに貼り付けて固定します。



- 3** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 6** 外側面は図のように仕上がります。



- 7** ヘラ等を使用し、内側面の生地をシートベルトバックル（金属バー）の内側に通します。



- 10** カバーの前側に付いているベルトをシート裏から背面側に通します。この時、スライドレバーの上側を通すようにして下さい。



- 8** シートベルトバックルの内側に通した生地を背面側から引き出します。



- 11** 背面側に通したベルトと、3番で引き出した生地に付いているバックルを固定します。ベルトの固定方法は12番を参照して下さい。



- 9** 8番で引き出した生地に付いているマジックテープと、3番で引き出した生地（左の生地裏）に付いているマジックテープを固定します。



- 12** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意下さい。



- 13** カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。
 運転席シートリフター装備車の助手席座面は、両側面の取り付け方法が異なります。
 取り付け方法は14番からご覧ください。
 運転席シートリフター未装備車は助手席も同様に付けます。



- 16** 内側面は生地裏に付いているマジックテープを、座面のフチに貼り付けて固定します。
 両側面の取り付け方法以外は、運転席座面と同様に付けます。



- 14** 助手席の外側面の取り付け方法です。
 ヘラ等を使用し、生地が付いている固定部材を、生地と共にプラスチックの隙間に入れ込みます。



- 15** 生地裏に付いているマジックテープを、座面のフチに貼り付けて固定します。

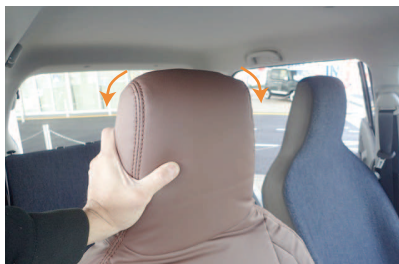
Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法



注意

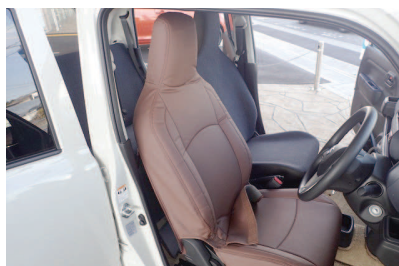
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



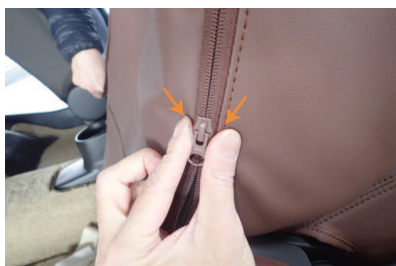
- 1** 両側面のファスナーを開き、カバーをヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。



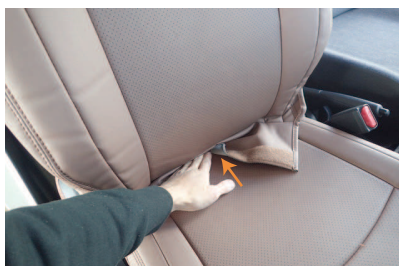
- 4** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 2** カバーを背もたれ全体にかぶせます。



- 5** 両側面に付いているファスナーを、生地を内へ寄せながら閉じます。
ファスナーを閉める際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



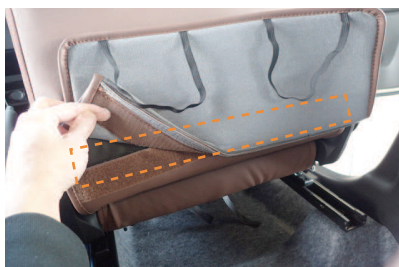
- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



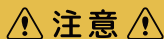
- 6** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 7** カバーを背もたれに馴染ませます。
図のように①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を4番と同様に背面側から引き出します。



- 8** 引き出した生地に付いているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープを固定します。

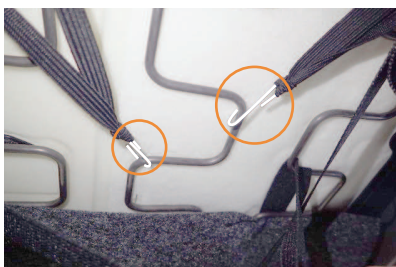


注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 9** カバー背面の生地に付いている2本のゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 10** 生地を座面裏に回し、金属フックを金属部分に引っ掛けて固定します。
引っ掛ける場所に指定はございませんが、程よくテンションが掛かる位置に固定して下さい。



- 11** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 3

2 列目座面の装着方法



- 1** 始めに、ラゲッジボードの固定を外します。ラゲッジボードは図の2箇所ピン止めされています。



- 2** ピンはループ状の持ち手を起こし、そのまま引き抜くと外れます。



- 3** ラゲッジボードをめくり上げたところにある、発砲スチロールのケースを取り出します。取り出したケースは傷が付かないように安全な場所に置いておきます。



- 4** 座面のカバーは、座面を車体から取り外して装着します。
座面は図の●の位置でツメによって固定されています（5番参照）。
座面と車体の隙間に手を入れ、ツメの両脇を持って、座面を真上へ持ち上げると固定が外れます。
※座面を持ち上げる際は、必ずツメの両脇を持って下さい。
※ツメは左右片側ずつ外して下さい。
※固定は固い為、ある程度の力が必要になります。



- 5** 座面の裏側の図です。
ツメは図の位置にあります。図のツメと車体側の受けによって座面が固定されています。



- 6** 前側のツメ2箇所を外した後、座面中央の付け根のフックと、車体側のフックを外します。
座面を前から押しながら、後ろのフックを持ち上げると外することができます。
※詳しいフックの構造に関しては7番を参照して下さい。



- 7** フックは車体に固定されたフックと、座面中央のU字フックが引っ掛けて固定されています。

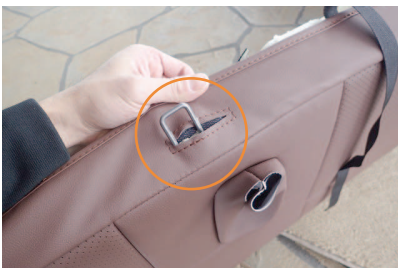
座面を前から押し、U字フックを車体側のフックから外した後、U字フックを持ち上げると固定が外れます。

※チャイルドシート固定フックが座面と引っ掛け、力が加わりにくい為、ある程度の力が必要になります。

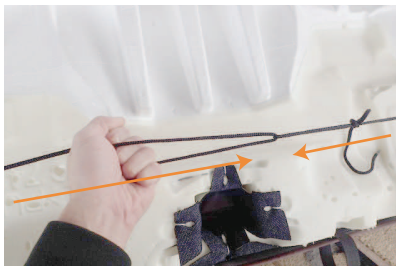
※1人が前から作業を行い、もう1人がラゲッジ側からサポートする形の2人での作業を推奨します。



- 8** 座面が外れたら、車に傷を付けないように車外の作業ができるスペースへ運びます。カバーを座面全体にかぶせます。



- 9** 7番で固定を外したU字フックを、カバーの切れ込み部分から取り出します。



- 10** カバーの両端から出ているひもを、座面裏で固定します。
ひもの固定方法は17ページを参照して下さい。



- 11** カバー前後の4本のベルトを固定します。



- 12** シートベルトバックル収納部に生地を入れ込み、カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。
座面は背もたれカバー装着後に車体へ戻します。

Step 4

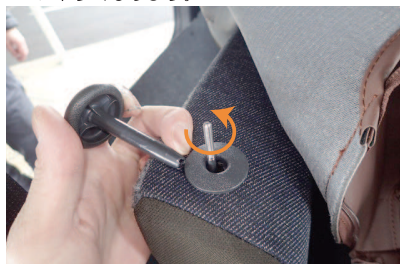
2列目背もたれの装着方法



- 1** ラゲッジボードをめくり上げ、付け根にある純正のブラフックの固定を外します。詳しい外し方は2番を参照して下さい。



- 2** ブラフックは図のように、鍵状のフックに板状のフックが差し込まれて固定されています。そのまま板状のフックを引き抜くことも可能ですが、引き抜きにくい場合、ヘラ等で鍵状のフックを広げながら板状のフックを引き抜く等の工夫をすると作業が行いやすくなります。



- 3** 背もたれのロックを解除し、背もたれ両側の肩口にある、リクライニング用レバーのプラスチック部分を外します。ネジ式になっている為、プラスチック部分を回す事で固定が外れます。
※この後の作業は背もたれをロックせずに行ってください。



- 4** カバーを背もたれ全体にかぶせます。



- 5** リクライニングレバーの軸をカバーの加工穴から取り出します。



- 6** カバー前側のブラフックが付いている生地を背もたれと車体の隙間に入れ込みます。
※チャイルドシート固定フックの上を通して下さい。



- 7** カバー両側面に付いているブラックを、ラゲッジボードの生地をめくり上げた場所にある金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 8** カバー両側面のファスナーを生地を内へ寄せながら閉じます。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



- 9** 6番で入れ込んだ生地をラゲッジ側から引き出し、引き出した生地に付いている鍵状のブラックと、1番で外したブラックの内、板状のブラックを固定します。固定方法は図のように、鍵状のブラックに板状のブラックを差し込んで固定します。ブラックが差し込みにくい場合は10番を参照して下さい。



- 10** 鍵状のブラックが狭く、板状のブラックが差し込みにくい場合、鍵状のブラックをヘラやマイナスドライバー等で広げると差し込みやすくなります。



- 11** 全てのブラックを固定すると図のように仕上がります。
※純正の鍵状のブラックはカバーで覆われている状態（使用しない）になります。



- 12** 生地の伸びを利用して、カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないようにご注意ください。



- 13** リクライニングレバーの台座の隙間に生地を入れ込みます。
入れ込んだ後に3番で外したパーツを元に戻します。



- 14** ロック部分の上下に付いているマジックテープを、穴位置が合うように固定します。
また、チャイルドシート固定部分の穴位置と、カバーの穴位置が合っている事を確認します。穴位置がずれている場合はカバーの位置を調節して下さい。



- 15** カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。



- 16** 座面を車体に戻します。
座面の付け根を背もたれと車体の隙間に差し込み、シートベルトバックルを穴に通します。穴は非常にタイトな造りになっている為、座面の位置を調節しながらバックルを取り出すイメージで作業を行って下さい。



- 17** 座面を前側から押し込み、座面中央部のU字フックを車体側のフックに引っ掛け固定します。
詳しい固定方法は18番を参照して下さい。



- 18** 座面を外した時と同様に座面を前側から押し込み、U字フックを車体側のフックに引っ掛けて固定します。
※カバーの厚みで座面が非常に戻しにくくなっている為、2人での作業を推奨します。また、図の右下のような工具や、造りがしっかりしたひも等（何か引っ掛けて引っ張れる物）があるとU字フックに引っ掛けて引っ張る事で、作業が楽に行えます。

Step 5

2 列目ヘッドレストの装着方法



- 19** フックが固定できたら、10ページ4番で外したツメの固定を元に戻します。車体側の受けと座面のツメの位置を合わせて、座面の上から体重を掛けて押し込む事で固定できます。



- 20** 座面を車体に戻すと図のように仕上がります。

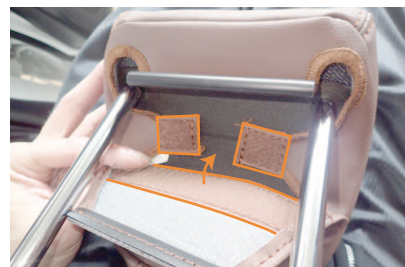
2 列目ヘッドレスト有り車のみ



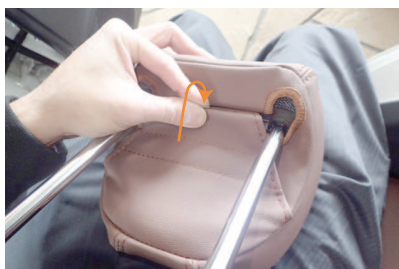
- 1** カバーをヘッドレストの後ろから前に向かってかぶせます。



- 2** カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストを背もたれから外し、ヘッドレスト裏でマジックテープを固定します。



- 4** カバー前後に付いているブラフックを固定します。ブラフックの固定方法は、**5番**を参照して下さい。



- 7** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

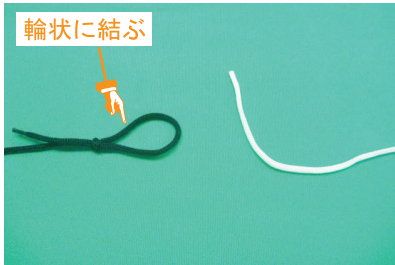


- 5** ブラフックはカギ状になっているブラフックに板状のブラフックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。

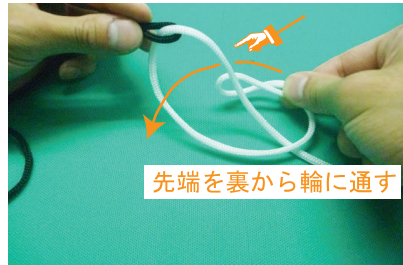


- 6** ブラフックを固定すると図のように仕上がります。

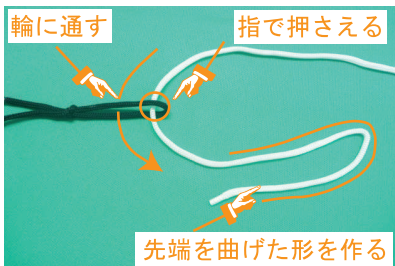
ひもの結び方



- 1** ひもの結び方です。
片方のひもを図のように輪状に結びます。
※図はわかりやすいように、色の違うひもを使用しています。



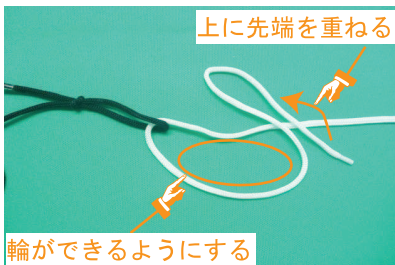
- 4** 輪に、重ねた先端を裏から通します。



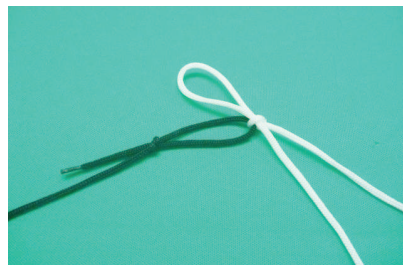
- 2** 輪に、もう片方のひもを通し引っ張ります。
ひもが締まっている状態のまま、輪にひもが通っている箇所を指で押さえます。この後の工程は押さえながら行って下さい。
また、通したひもの先端を図のような形にします。



- 5** 通した後、カバーから出ている方のひもを引っ張ります。
逆のひもを引っ張ると、ひもが抜けてしまいますのでご注意下さい。

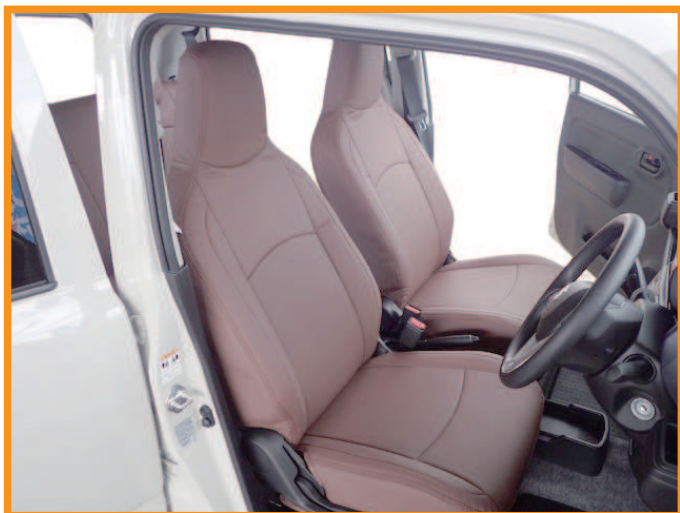


- 3** 曲げた先端を通してきたひもの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 6** 引っ張ると図のような形になり完成です。

完成図



1 列目



2 列目

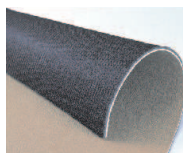


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816